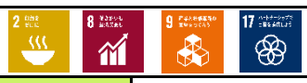
令和６年度　基本評価調書			所管部局	農政部	所管課	食品政策課	
施策名	高付加価値農業の推進				施策コード	0603	
政策の柱	食				政策体系コード	1(1)A	
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、北海道強靭化計画、知事の基本政策、ゼロカーボン北海道推進計画						事務事業数 6
特定分野別計画	第6期北海道農業・農村振興推進計画、第5次北海道食の安全・安心計画・北海道食の輸出拡大戦略（第Ⅲ期）						
SDGs					総合判定	概ね順調	
予算額（千円）	R6	2,585,052千円	R5	2,568,004千円	R4	2,580,600千円	

施策目標	食市場の変化やニーズの多様化などに対応して、国内外の需要を喚起し取り込むため、ブランド力の強化や輸出を含む農産物等の販路拡大を図るとともに、地域ぐるみで行う6次産業化や関連産業との連携強化など地域資源を活かした新たな価値の創出に取り組む。
現状と課題	（6次産業化の推進） 農業・農村の所得の確保や雇用の安定に向けて、地域資源を活かした新たな価値の創出が求められている。 （農産物等の輸出促進） アジアを中心に世界全体の市場は大きく拡大することが見込まれる中、国内外の動きや変化を的確に捉えた販路の開拓や需要の喚起・拡大のほか、国際情勢の変化に対応した安定的な輸出体制を確立するため、対象国や品目の拡大に取り組むことが求められている。

〈主な取組〉

今年度の取組	（6次産業化の推進） 相談・支援体制の整備など6次産業化の取組を支援する。 （農産物等の輸出促進） 海外ニーズに応えるため産地の機運醸成に取り組み、海外における販路拡大に向けて、品目の特徴に合わせた戦略的なプロモーションや市場調査等を実施するとともに、産地の輸出体制の整備を支援する。
実績と成果	（6次産業化の推進） 北海道6次産業化サポートセンターを開設し、各種相談（農林水産物の加工・販売、新商品の開発などに関する相談）に対応した。 なお、昨年度における窓口相談対応は175件で、専門家による現地指導を45回実施し、6次産業化の推進を図った。 （農産物等の輸出促進） 輸出先国の需要等を踏まえたフェアや商談会を実施し、PRの強化を図った結果、海外の消費者等における道産農産物等への関心がより高まった（商談件数250件うち成約27件）。輸出先国のニーズ等に対応するため産地向けセミナーを開催し、機運の醸成を図った（R6：2回）。

参考HP①	6次産業化の推進について	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/agri-b/6_jikaR.html
参考HP②		
参考HP③		

令和6年度 基本評価調書	【1(1)A_0603】高付加価値農業の推進

〈**指標分析**〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	億円	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R10)	達成率	指標判定
6次産業化の取組(年間販売金額)		目標値	2,287	2,315	2,343	2,370	97.5%	B
		実績値	2,078	2,054	2,284			
設定理由	6次産業化の取組による年間販売金額を把握する指標であり、課題である地域資源を活かした新たな価値の創出に向けた取組の成果を測る指標として設定。 ※R2～4年度目標値は、第4次北海道食の安全・安心基本計画に基づく目標値							
指標公表時期	毎年調査、3月頃公表	出典(根拠計画等)	農林水産省「6次産業化総合調査」					

分析(主な取組と成果)

北海道6次産業化サポートセンターを設置・運営し、6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善の支援を行った結果、取組事業体の販売金額は前の年度を上回った。

指標名②	増加	億円	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R10)	達成率	指標判定
道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の輸出額(暦年)		目標値	125	125	125	－	147.2%	A
		実績値	108	124	184			
設定理由	道内港を通じ海外へ輸出された通関額、及び民間事業者を対象に実施した調査等をもとに推計した道外港から輸出された通関額の合計であり、課題である販路の開拓や需要の喚起・拡大に向けた取組の成果を測る指標として設定。 ※最終年度目標値については、ALPS処理水関連の影響により設定不能(検討継続)							
指標公表時期	毎年調査、4月頃公表	出典(根拠計画等)	財務省函館税関「貿易統計」をもとに北海道農政部作成					

分析(主な取組と成果)

北海道・ホクレン・ぎょれん等で構成する「北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会」として、北海道フェスティバルinハロン(R5.11.17～21)や、"日本の食"輸出EXPO SUMMER(R6.6.19～21)に出展するなどし、効果的なPRを行った。
道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の輸出額(億円)(推計値)は、令和4年は184億円で、たまねぎが豊作だったことや、国内脱脂粉乳の在庫低減に向けた取組などの影響のほか、米、牛肉、ながいもなどが堅調に推移したことにより、目標を達成した。

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						

分析(主な取組と成果)

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【1(1)A_0603】高付加価値農業の推進

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) ＜6次産業化の推進＞ 農林漁業者や商工業者、金融機関、国等の行政機関といった関係者と6次産業化の推進に向けた支援等についての情報共有などによる連携強化を図り、6次産業化の一層の推進が必要である。 ＜農産物等の輸出促進＞ 海外への販路拡大に向けて、北海道ブランドを生かした効果的なプロモーションや、産地の輸出体制の整備などの取組を一層進めていく必要がある。
	(取組と成果) ＜6次産業化の推進＞ 関係者と情報共有や連携を図りながら、農林漁業者等が行う農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用して取り組む新商品の開発や販路の開拓及びそれらに必要な加工・販売施設等の整備に対して支援を行った。 ＜農産物等の輸出促進＞ 輸出拡大に向けた取組内容や実施状況等について経済部・総合政策部・水産林務部と情報共有するとともに、農業団体等と連携し、北海道産農畜産物の認知度向上のためのプロモーション活動を実施した(R5.11月ベトナム、R5,11シンガポールで実施)。

緊急性 優先性	(課題) 今後大きな需要が見込まれる中国など輸出相手国における輸入規制の緩和に向けた取組を促進する必要がある。
	(取組と成果) 国に対し輸入条件の緩和に向けた国家間交渉の推進や輸出相手国の規制やニーズへの対応、流通網の構築など、道産農産物の輸出体制の整備に向けた課題解決に取り組む産地への支援について、必要な予算の確保などの要望を実施している。(直近はR6年5月)

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
道内港からの道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の輸出額	48億円(R3年度)	63億円(R4年度)	54億円(R5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
さらなる輸出拡大に向け、重点品目を中心とした既存の商流の維持・拡大や新たな商流の開拓が必要である。

(状況)	
脱脂粉乳の輸出が主に道外港から行われたことや、高温等の影響によりたまねぎの収量が少なかったことなどによりR4年度と比較して減少したものの、概ね堅調に推移しており、引き続き関係機関と連携し、輸出品目の拡大や輸出先国・地域の多角化に向けた取組を推進する。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

令和6年度 基本評価調書	【1(1)A_0603】高付加価値農業の推進

〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	b		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

（該当なし）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	6次産業化に取り組む事業体の販売金額は前の年度に比べて増加しているが、目標達成に向け、農林漁業者等の6次産業化による所得向上や経営改善を支援するため、引き続きサポート活動などに取り組む。
	②	庁内連携に加え、農業団体等と連携し、北海道産農畜産物の認知度とブランド力を高めるための情報発信や、料理提案等と合わせたプロモーション、産地機運醸成の取組などを行うとともに、輸出先の衛生基準等に対応するための取組への支援等を行い、商流の維持・拡大を目指す。
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	6次産業化を一層推進するため、農林漁業者等の相談窓口として6次産業化サポートセンターを設置・運営するほか、地域資源を活用した新商品の開発や販路拡大、加工・販売施設等の整備の支援に取り組む。
	②	関係機関・団体等と連携し、効果的な事業推進に努めるとともに、海外に向けては、食べ方提案などの戦略的なプロモーション活動やインバウンド向けのPR、輸出先国のニーズ等への対応に向けた産地の体制確立のための支援等に取り組む。
	③	

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	0603

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応（令和6年度） 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0301		一般	道産農畜産物輸出総合対策事業費	・北海道産農畜産物等の輸出拡大を図るため、品目ごとのプロモーション活動や市場開拓に向けた調査等を総合的に取り組むことに併せ、関係団体と連携して、アジア諸国等における販路開拓に取り組むほか、輸出先国の基準に対応した施設整備等を支援	食品政策課		2,446,149	25,455	4.5	2.0	6.5	2,498,214	②	改善（取組分析）		拡充	
0305		一般	6次産業化ネットワークづくり支援事業費	・農林漁業者等と多様な事業者が連携して取り組む6次産業化等を推進するため、地域におけるネットワークづくりに向けたセミナー等を開催	食品政策課		422	422	0.2	0.2	0.4	3,626					
0306		一般	6次産業化サポート事業費	・6次産業化等の取り組みを支援するため、農林漁業者等からの相談対応や専門家の派遣を行うサポートセンターを設置・運営するとともに、専門的な知識等の習得に向けた研修会を開催	食品政策課		26,590		0.6	0.2	0.8	32,998	①	改善（取組分析）		改善	
0307		一般	農山漁村振興交付金事業費	・農山漁村の活性化を図るため、関係機関と連携した協議会を開催するほか、農林水産物や農林水産業に関わる地域資源を活用した新商品の開発や販路開拓及び加工・販売施設等の整備を支援	食品政策課		105,420	40	0.6	1.8	2.4	124,644					
0326	0602	一般	新顔冬野菜推進事業費	冬の寒さにより甘みが増すなど特徴を有する「ちぢみほうれんそう」や高価格での取引が期待される「伏せ込みアスパラガス」などを「新顔冬野菜」として生産と需要の拡大を図るため、産地事例調査や催事販売などの取組を推進	食品政策課		6,471	3,236	0.9	0.0	0.9	13,680					
0317	0606	事務	食品政策課総合調整等業務	・道議会事務、予算・決算事務、職員の服務・研修などの事務	食品政策課				1.9	3.5	5.4	43,254					
											0.0	0					
											0.0	0					
計						0	2,585,052	29,153	8.7	7.7	16.4						